

令和4年度中学生バレーボール指導者研修会 (報告)

ア 目的 中学生のバレーボール活動の現状を把握し、これからの方向性を検討するとともに、指導者の資質向上と、現在の諸問題の解決策を考える。



イ 主催 (公財) 日本バレーボール協会

(公財) 日本中学校体育連盟バレーボール競技部

ウ 実施日時 令和5年2月18日(土) 9:00~16:30

エ 場所 松江市立湖南中学校 (松江市浜乃木八丁目2番60号)

オ 参加者 県内外 バレーボール指導者 もしくは今後指導する者 計40名

カ 研修会講師 ○田中 直樹氏 (公財) 日本バレーボール協会 公認講師

福岡県出身 日本体育大学卒業 1985年ワールドカップ全日本代表

1985~1992年 住友金属ギラソールに所属

1986年 第17回実業団リーグ優勝 MVP 世界選手権 全日本代表

○池川健一氏 日本中体連バレーボール競技部指導普及副委員長

キ モデルチーム 安来市立第三中学校, 松江市立鹿島中学校 男女バレーボール部の皆さん

ク 研修概要

講義

オンコートレクチャー

1, コーチングとは何か

1, 基礎技術 (オーバーパス, アンダーパス)

2, バレーボールの基本技術

2, 連携練習, レセプション

3, トータルディフェンスの概念

3, 乱打練習 (やったことをつなげて)

4, 戦術と戦略・・・中生レベルでできる戦術立案

カ 研修会を終えて

午前中の講義においては、世界を相手に戦った時のエピソードを交え、バレーボールの正しい技術について・指導に関する理念や理論を講義形式で行った。オンコートレクチャーでは、田中先生が何度も選手に向かって、「なんで? どうして?」の声かけをされていることが印象に残った。うまくいかない原因が、どこにあるのか、選手自身が考えて、実行することに重きを置いて指導をされる姿に、講義内にあった「コーチング」を思い出した。選手に考えさせること、考えたことを実行して思考錯誤することが、バレーボールの本当の面白さにつながるのではないかと。参加者にとって今回の研修が、普段の自身の指導の姿をふり返り、より良い指導者を目指してコーチングに向かうきっかけとなることを願う。

